

B-18

出展団体名	九州大学	
発表者所属	農学部附属農場・高原農業実験実習場	
発表者氏名	後藤 貴文	
発表タイトル	和牛の体質制御と国内草資源の活用による安心・安全なグラスフェッド型良質ブランドビーフの開発	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し <input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し <input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し <input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し <input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	① 安心・安全なブランドビーフ	② 和牛の体質制御
	③ おいしい赤身肉	④ 国内草資源のフル活用
要 旨（アピールポイント）		
<p>ウシは本来、“草資源からタンパク質源としての食肉やミルクを生産し”、それをヒトに供給するという重要な物資循環機能を担った草食動物です。私たちは国内草資源を活用する牛肉生産に適応した“ウシ体質形成プログラム構築”のために“代謝生理的インプリンテング（刷り込み）効果”という新しい概念を導入し（草からの栄養吸収能力を高める体質づくり）、草資源をフル活用した安全で良質な牛肉生産を目指しています。具体的には耕作放棄地や草原をフル活用した放牧飼養により赤身肉がおいしく、同時に適度な脂肪が交雑した牛肉の生産を目指しています。ヒトの疾病を予防するビタミンやその他の機能性物質には“脂溶性”のものが多く報告されており、体質制御により、放牧飼養でもそれらの筋内への蓄積ポテンシャルも高くなり、生産される牛肉のヒトへの疾病予防効果がより高くなることが予想されます。私たちは九州大学から、国内草資源をフル活用して、安全・安心な新しいタイプのブランドビーフの開発を目指します。</p>		